

全学一斉避難訓練

平成27年10月28日(水)
11:30~12:00

訓練の内容

全学一斉避難訓練では、11:30に屋外・屋内放送設備により緊急地震速報が放送されたら、以下の①~④の順で行動してください。以下の説明をよく読み、行動内容と意味を確認して訓練に参加してください。

名古屋大学の建物は一定の耐震性を有しており、一回の地震で倒壊することはほぼありませんが、強い揺れで建物が損傷したり、天井が落下する、未対策の家具が倒れる、棚の物が落ちるなどの危険性があります。

① 緊急地震速報で安全確保行動

安全確保行動の3ステップ



この安全確保行動の訓練は、米国で950万人が参加したもので、名古屋市でも行われています。各自の状況に応じて行動してください。

場所により安全確保のための行動は異なります。教室などでは、机の下で頭を守り、机が動かないように押さえる姿勢が一般的です(左図)。

実験室では、薬品等があるため、できるだけ室内外の安全な場所に移動して安全確保行動をとります。

訓練では、緊急地震速報から10秒後に揺れが始まり、2分間は強い揺れが続く想定です。その間、揺れているイメージを持って、安全確保行動を続けてください。

② 一次避難場所へ安全に避難

揺れが収まったら、教職員等の指示に従って屋外に避難します。急ぐ必要はありません。建物近くの一次避難場所まで、落ち着いて整然と避難しましょう。貴重品などは身に付けてください。

一次避難場所や避難経路は建物で決まっています。教職員や自衛消防隊員の指示に従ってください。

避難時の原則

お：押さない
は：走らない
し：しゃべらない
も：戻らない

③ 避難者確認

避難を終えたら、教員または各建物の自衛消防隊員に予め記入しておいた避難者確認カードを渡してください。

非常時に、一次避難場所で安全が確保できた避難者を確認することは、その後の対応のために重要です。大震災行動マニュアルに避難者確認カードがついていますが、それは実際の災害で使用しますので、今回の訓練では、このチラシの右下のカードを切り取って使ってください。

④ 安否確認システム対応訓練

12:00以降、登録された緊急連絡用メールアドレスに安否確認メールが届きます。

情報セキュリティ自己点検で登録した緊急連絡用アドレスに安否確認メールが届きます。メールのURLをクリックして、安否状況を入力してください。

入力期限: 10月30日(金) 17:00 (なるべく早く入力)

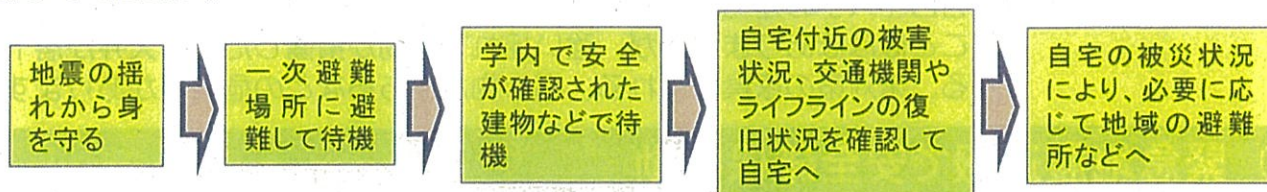
***名古屋大学・避難者確認カード**
(☐学生 ☐院生 ☐研究員等 ☐教職員 ☐その他)
ふりがな
氏名
所属
学部・研究科 学科・専攻
身分(B, M, D) 学年
教員番号 学生番号
※大学記帳欄

大地震発生時の行動

南海トラフ地震など大地震が発生した場合には、発生時刻や地震の規模などにより、とるべき行動が変わります。平日の日中に発生した場合は、概ね以下の流れになります。

名古屋大学では、地震などの災害が発生した時には、キャンパスをいくつかに分けたブロックごとに、自衛消防隊が組織されて避難誘導や消火などを行います。また、けが人の救護にあたる救護センターや建物の安全性を調査する応急危険度判定センターなどが設置されます。

学生の皆さんは、大学で被災した場合は、教員や自衛消防隊員の指示に従って落ち着いて行動してください。



南海トラフの巨大地震の被害想定

南海トラフの巨大地震が発生すると、静岡県から九州まで広い範囲で、揺れによる建物倒壊や津波などにより大きな被害を生じます。以下は、南海トラフで過去に発生した最大クラスの地震による名古屋市内の地震被害予測の一部です。

〈名古屋市内の死者・負傷者〉

死者数	約1,400人
重傷者数	約600人
軽症者数	約4,500人

〈名古屋市内の建物全壊・焼失棟数〉

揺れによる全壊数	約4,900棟
液状化による全壊数	約2,300棟
津波による全壊数	約2,900棟
地震火災による焼失数	約50棟～4,900棟

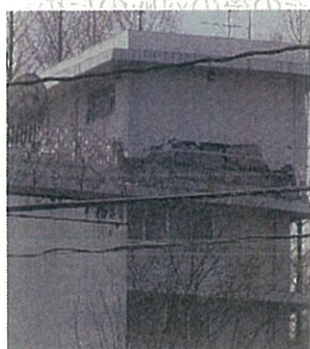
〈名古屋市内の停電軒数〉

直後の停電軒数	約123万軒(全体の約89%)
1日後の停電軒数	約111万軒(全体の約81%)

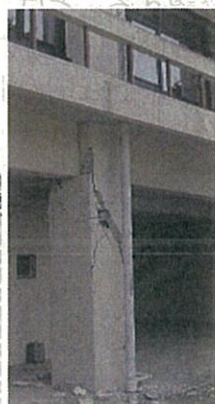
被災当日は、交通信号もつかない
真っ暗な夜になる！

(事例) 東日本大震災における東北大学の被害

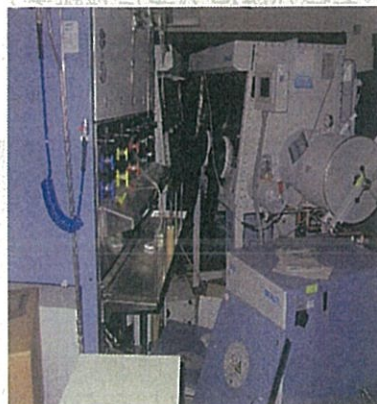
これまでの被害例から、自らの被害イメージを持とう！



校舎の上階が被災した例



2階建校舎の1階の柱が被災した例



重い実験器具が移動した例。
人がいたら挟まれる。



実験室の火災



重い本棚が倒れると、テーブルもつぶされる。

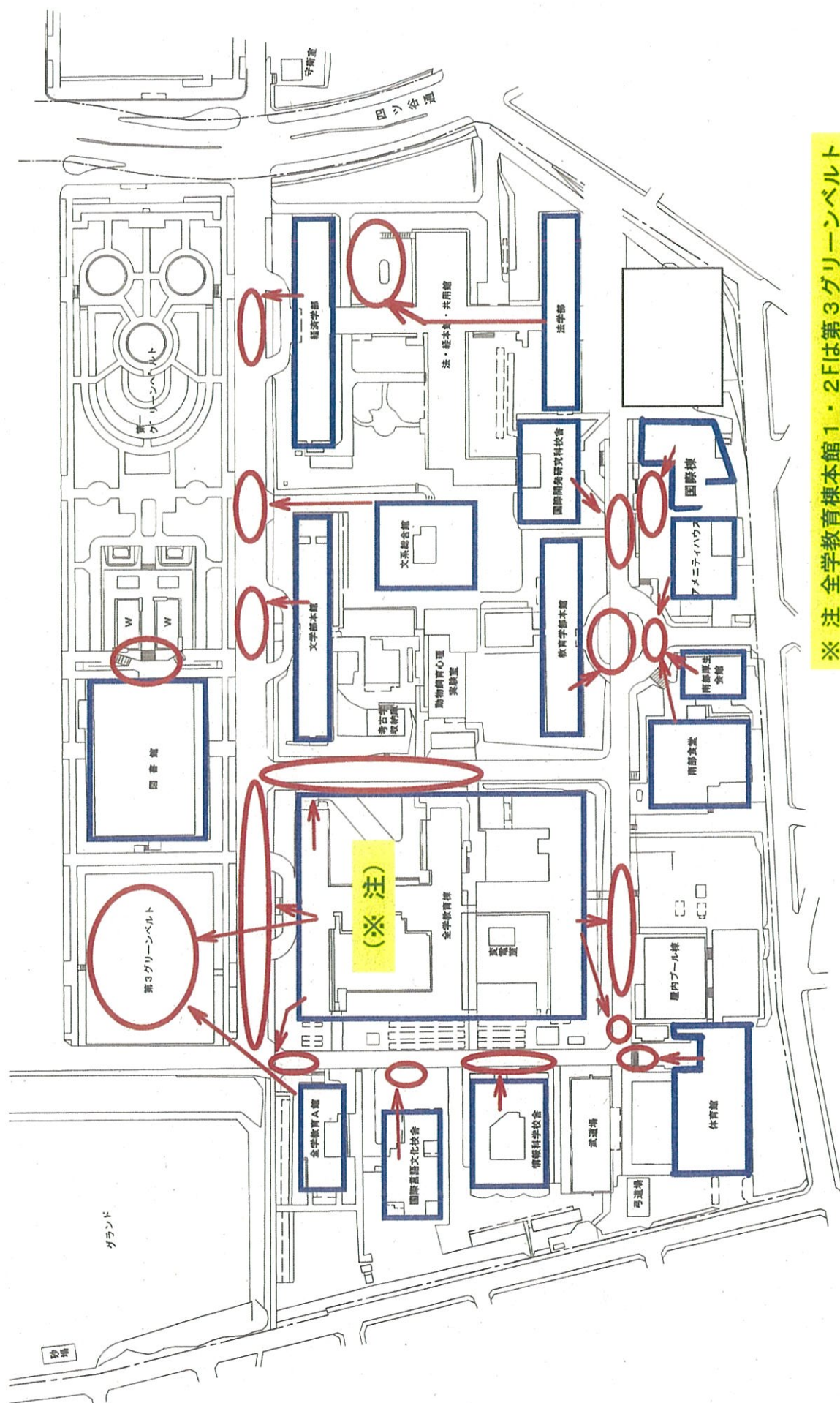


名古屋大学防災推進本部

お問い合わせ先：災害対策室（東山内線6040）

詳しくは、災害対策室ホームページ(www.seis.nagoya-u.ac.jp/taisaku)

H27.10.16現在



※注 全学教育棟本館1・2Fは第3グリーンベルト
3・4Fは同本館周辺を一次避難場所とする